

かごしましりつびじゅつかん 鹿児島市立美術館 「ミュシャ展～運命の女たち～」 鑑賞レポート

伊敷台小学校 5年

美術館に行った日 平成30年 8月 2日(木)

気に入った作品の名前 (四つの花: アイリス、バラ、ユリ、カーネーション)

作品をかいた人の名前 (ミュシャ)

感想 紹介

ミュシャが好んで書いていたのが「花」と「女性」であった。この作品ではアイリスは静謐でしなやかな女性に、バラは華やかで力強い美しさを持つ女性に、ユリは清楚で可憐な女性に、カーネーションは優雅でありながらもどこかたくましさも感じる女性に、それぞれの花のイメージを巧みに擬人化している。この図案は好評を博したためさまざまなものに転用された。

思ったこと(感想)

- ・花の一つ一つがいていねいにえがかれていた。
- ・紹介に書いた「花のイメージを巧みに擬人化している女性」のイメージは、その花と合っていた。
- ・花も女性もきれいで、四まいとも表じょうがちがった。

特に気に入った絵



気に入った所
上を向いて、太陽の光をあびている所が上手に書けてるから。ユリの花一本ずつをこらこらにかいてるから。